

新聞 読んだ 考えた

2024年1月16日付15面「板柳 合格リンゴで
受験応援 住民有志 板柳中3年生に贈る」

高校受験を控えた中学生を応援しようと、板柳町の住民有志でつくる「9・1-2会」（佐藤洋治会長）は15日、板柳中学校を訪れ、3年生108人に「祈合格」の文字が入った合格リンゴを手渡した。リンゴの贈呈は今年で39回目。

八戸学院光星高3年 南上 ななさん



「住民たちは「頑張ってるね」「大丈夫。合格できる」など

合格リンゴ 受験生に勇気

私がこの記事を選んだ理由は、私自身も今年、大学受験があったからだ。とても不安だったが、母からの応援で気持ちを強く持てたため、この記事に強く共感した。

と声をかけながら生徒一人一人にリンゴを手渡したそっけなく、誰もが不安になるだろう。そのため、この記事のようなリンゴの贈呈は、受験生に勇気を与えてくれる。板柳中への合格リンゴの贈呈は、今年で39回目と、

受験生にとって、とても勇気づけられるものになる。リンゴの花言葉は「優先」「選ばれた恋」「好み」の他に、「選択」という意味がある。合格リンゴにそのような意味が込められていく。伝統のように続いている。これからも、たくさんの受験生を元気づけるために、贈呈を続けてほしい。板柳町だけでなく、他の地域でも、受験生を元気づける行事があると良いと感じた。